

次世代大容量省電力ストレージ技術のための革新的技術開発

ハードディスクドライブ（HDD）は、今日の高度情報化社会の情報爆発を支える主要ストレージデバイスであり、更なる高密度化と低消費電力化が要求されています。今回は、次世代の大容量ストレージの基本要素技術に関する研究開発（文部科学省施策）を実施している東北大学電気通信研究所と、高密度HDDの実用化・量産化に関する研究開発（経済産業省施策）を実施しているNEDOが、両研究開発プロジェクトの成果を広く社会に還元して、より一層の国際的イニシアチブを発揮するとともに成果の波及効果を高めることを目的に、第2回目の合同の成果報告会を開催します。皆様にはぜひご出席の上、忌憚のないご意見・ご指導を賜りますよう、ご案内申し上げます。

文部科学省 次世代IT基盤技術構築のための研究開発「高機能・超低消費電力コンピューティングのためのデバイス・システム基盤技術の研究開発」
新エネルギー・産業技術総合開発機構 「超高密度ナノビット磁気記録技術の開発」（グリーンITプロジェクト）

開催日： 平成24年3月12日(月)

会場： 中央大学 駿河台記念館 370号室（東京都千代田区神田駿河台3-11-5）

共催： 新エネルギー・産業技術総合開発機構、東北大学電気通信研究所

後援： 文部科学省、経済産業省

協賛： (社)日本磁気学会

司会： 押木満雅（日本磁気学会）

13:00	開会挨拶	NEDO技術開発機構 電子・材料・ナノテクノロジー部長	中山 亨
	開会挨拶	東北大学電気通信研究所 所長	中沢 正隆
	来賓挨拶	文部科学省研究振興局 情報課長	岩本 健吾
	来賓挨拶	経済産業省商務情報政策局 デバイス産業戦略室長	師田 晃彦

[両プロジェクトの概要]

13:20	超高密度ナノビット磁気記録技術の開発	城石 芳博（日立）
13:40	テラビット磁気記録技術のための基盤技術開発	村岡 裕明（東北大）

[技術開発の成果]

14:00	次世代垂直記録再生系の要素技術と方式	青井 基（東北大）
14:15	スピン蓄積超高感度再生ヘッドへ向けたスピントロニクス技術	山田 将貴（日立）
14:30	高分解能記録ヘッドとナノ磁極加工基盤技術	山川 清志（東北大）
14:45	次世代ナノパターン媒体の材料開発と磁化反転機構	島津 武仁（東北大）
15:00	新規省電力超高速ストレージシステムの開発	藤本 和久（東北大）
	休憩（15:15-15:30）	
15:30	エネルギーアシスト磁気記録及びナノアドレッシング装置技術	宮本 治一（日立）
16:10	ナノビット磁気記録技術及び高分解能磁気ヘッド技術	喜々津 哲（東芝）

16:50 閉会挨拶 岩手県立大学 学長（文部科学省 当該プロジェクト プログラムオフィサー）
中村 慶久

メールによる事前参加申し込みをお願いいたします。 symposium@it21.riec.tohoku.ac.jp
(当日会場でも受付いたしますが、準備の都合上、出来るだけ事前申し込みをお願いいたします。)